

とっとり
考古学
フォーラム
2022

須恵器からみた

古代因幡の 流通と交通

参加無料

会場定員100名
(要申込・先着順)

令和5年

3月26日

13:20~16:40

はっとう
八東体育文化センター
2階遠見山アリーナ
(八頭郡八頭町富枝10番地1)

YouTubeによる
ライブ配信あり
(定員なし・要申込)



講演
1

「須恵器の形態からみた古代因幡の様相」

講師／(公財)鳥取県教育文化財団調査室文化財主事 **八峠 興** 氏

講演
2

「胎土分析からみた 古代因幡の須恵器の生産と消費」

講師／岡山理科大学教授 **白石 純** 氏

討議

白石 純氏、八峠 興氏、
下江 健太氏 (青谷かみじち史跡公園準備室係長)

申込方法

とっとり電子申請サービスでお申込みください。
(とっとり電子申請サービスが利用できない方は、当センターまで電話でお申込みください。)
【受付期間】令和5年3月1日(水)~3月22日(水)



会場参加者



オンライン参加者

展示

会場では、
写真パネルや
各遺跡の出土資料等
の展示も行います。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては会場参加を中止し、ライブ配信のみ実施する場合があります。

主催／鳥取県埋蔵文化財センター、八頭町教育委員会

フォーラム内容・日程

12:50	受付
13:20	開会
13:25	講演1 「須恵器の形態からみた古代因幡の様相」 講師／(公財)鳥取県教育文化財団調査室文化財主事 八峠 興
14:15	休憩
14:25	講演2 「胎土分析からみた古代因幡の須恵器の生産と消費」 講師／岡山理科大学教授 白石 純
15:25	休憩
15:35	討議 八峠興、白石純 司会／青谷かみじち史跡公園準備室係長 下江 健太
16:35	閉会
16:40	

講師紹介



岡山理科大学教授
白石 純氏

1955年徳島県生まれ。1978年岡山理科大学理学部機械理学科卒業。博士(学術)。専門は考古理化学。

【主な著書・論文】

- 「土が語る古代・中世一土器の生産と流通」吉備人出版(2016)
- 「須恵器の胎土」『季刊考古学』第142号、雄山閣(2018)
- 「生産と流通の考古学」『講座 考古学と関連科学』雄山閣(2022)
- 「中世土器・陶磁器研究と胎土分析」『新版 概説 中世の土器・陶磁器』日本中世土器研究会編(2022)



(公財)鳥取県教育文化財団調査室文化財主事
八峠 興氏

1963年群馬県生まれ。1986年立命館大学文学部卒業。専門は古代から中近世の考古学。

【主な著書・論文】

- 「鳥取における古代から中世前期の土器編年―須恵器と回転台土師器を基に―」『調査研究紀要5』鳥取県埋蔵文化財センター(2014、共著)
- 「八頭町・日下部窯出土陶磁の検討―石見焼・因久山焼との比較を基に―」『鳥取県立博物館研究報告第52・53号合併号』(2016)
- 「因幡・伯耆出土の製塩土器について―予察後の成果を基に―」『古文化叢書第78集』九州古文化研究会(2017)



青谷かみじち史跡公園準備室係長
下江 健太氏

1975年広島県生まれ。2001年岡山大学大学院社会文化科学研究科修了。2002年から鳥取県教育委員会。以来、県内の埋蔵文化財を中心に文化財の調査研究や保護活用事業に従事。専門は日本考古学。

鳥取西道路建設に伴う発掘調査では、古代因幡の歴史解明にとって重要な数多くの資料がみつかっています。中でも奈良・平安時代の遺跡から大量の須恵器が出土していますが、これらの生産と流通については明らかになっていません。本フォーラムでは、古代因幡国の16遺跡から出土した須恵器665点の胎土分析等の調査研究成果と、古代山陰道をはじめとした古代交通との関係をもとに、古代因幡の須恵器の流通について考えます。



会場アクセス

- 若桜鉄道若桜線丹比駅から徒歩5分
到着時刻(若桜方面) 12:28、13:14
(郡家方面) 12:59
発車時刻(若桜方面) 17:15
(郡家方面) 17:36
- 山陰自動車道鳥取ICから国道29号経由、車で40分
- 鳥取自動車道河原ICから県道324号線、国道29号経由、車で30分

※駐車場は会場向かいにあるグラウンドの駐車場をご利用ください(100台駐車可)

会場参加の方へのお願い

- 体調がすぐれない場合は参加を御遠慮ください。
- マスクの着用、会場入口での検温、手指消毒をお願いします。

電話による
申込み・問合せ先

鳥取県埋蔵文化財センター

TEL/0857-27-6711

FAX/0857-27-6712

〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1260
Mail/maibuncenter@pref.tottori.lg.jp

